



「国登録有形文化財」へ登録となる
「旧矢崎商店」の大工棟梁「立石初三郎」さん
の情報を集めています。

詳細は裏面をご確認ください

国登録有形文化財へ
「旧矢崎商店」調査報告展示開催

2025/8/23(土)～26日(火)10:00～15:00(初日のみ13:00まで)
@旧矢崎商店(長野県諏訪郡下諏訪町3156-19)

調査事務局： 下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館、御田町文化研究会

信州大学工学部建築学科梅干野研究室が主体となり 下諏訪の大工棟梁「立石初三郎」さんの 調査を行なっています。

御田町にある生糸問屋の旧商家である「旧矢崎商店」。令和6年度の1年間をかけて信州大学工学部建築学科梅干野研究室の皆様にご調査を行なっていただき、無事「国登録有形文化財」への登録答申がされました。

高い大工技術が反映された内部空間を有するこの旧矢崎商店の大工棟梁が「立石初三郎」さん。今年度は信州大学の皆さんがこの「立石初三郎」さんについて調査を進めています。レベルの高い大工の系譜に生まれ、下諏訪で質の高い建築を数多く生み出していた立石初三郎さんについては、資料などの記録が少なく、町民の皆様からの情報を募集させていただきたく思っております。以下をご確認の上、学術研究にご協力をいただけますと幸いです。

こんな情報をお寄せください

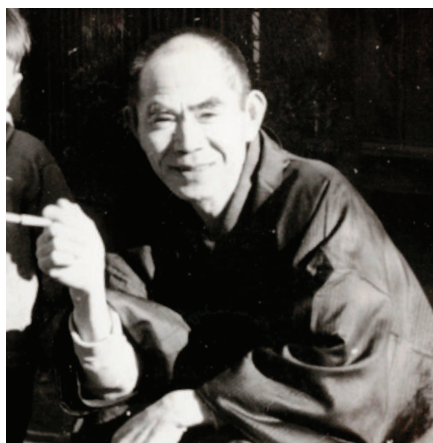
- ・ 自宅が立石初三郎さんが手がけた建築である
- ・ 親類や知人の方が立石初三郎さんの弟子や知り合いだった
- ・ 立石初三郎さんの手がけた建築を知っている などなど

※お寄せいただいた情報は下諏訪町/信州大学/御田町文化研究会で共有させていただきます。

※情報の内容によっては事務局より調査協力について、

折り返しお問い合わせのご連絡をさせていただく可能性がございます。

大工棟梁 | 立石初三郎



立石初三郎

生：明治26年（1893年）1月31日

没：昭和53年（1978年）12月8日

- ・ 松本から縁戚の下諏訪立石家へ養子に入る
- ・ 昭和25年（1950年）二級建築士の第1期の試験に合格し、中央通りに「立石建設」開業（昭和45年頃閉業、その後も設計は継続。）
- ・ 下諏訪を中心に数多くの民家を手がけた。
- ・ 民家の他寺社建築の改修・再建等も手がける。
- ・ 松本の国宝旧開智学校を手がけた立石清重の大甥にあたる。

情報のご提供はこちらまで

窓口：下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館及び御田町文化研究会



0266-27-1627

FAX：0266-27-9755



mitaken.1911@gmail.com